



こんにちは

大島町立元町保育園 〒100-0101 大島町元町字丸塚 547 番1
TEL:04992-2-3213 FAX:04992-2-3234

【保育理念】

「すくすく・のびのび・にこにこ」

子ども・保護者・地域・保育士みんなで
笑顔あふれる保育園を目指します。

【保育目標】

生き生きと毎日を楽しめる子ども
好奇心旺盛で意欲のある子ども
思いやりのあるやさしい子ども

木々や花の芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。そんな様子を、この1年間で成長した子ども達の姿に重ね合わせてうれしく感じます。

今年度もいよいよわずかとなりました。来年度へ向けてみんなで準備をしながら、残りの日々も思い切り楽しめるよう体調管理に気を付け、元気に過ごしていきたいと思ひます。



3月の予定

- 2日(月) 月はじめ集会 身体測定
- 5日(木) 誕生会
- 14日(土) 卒園式 5才児
- 25日(水) 修了式

☆感染症などの状況により、予定が変更になる場合があります。決まりましたら随時お知らせ致します。

明治会との交流

明治会との交流会を2月18日に行いました。今年度最後の交流会で、1才児もも組、2才児すみれ組がおじいちゃん、おばあちゃんと一緒にかくれんぼや「何でもバスケット」で交流しました。優しいおじいちゃん、おばあちゃんの雰囲気小さい年齢の子ども達も抱っこしてもらいニコニコです。年長児さくら組は、今までの関わりに感謝の言葉を伝えました。明治会のおじいちゃん、おばあちゃんからも卒園・就学に向けての励ましの言葉とプレゼントをいただき、交流会を終えました。

子ども達の成長を温かく見守ってくださる地域の皆様に感謝!です。また来年度も交流の機会を持っていきたいです。



さくら組11名が卒園します!

みんなのお昼寝の布団を敷いてくれたり、困っているときにやさしく助けてくれた年長児さくら組さんが3月末で卒園します。楽しいことが大好きで、元気いっぱいなさくら組さんが卒園するのはとてもさみしいですが、各クラス2月のお別れ週間で一緒に散歩に行ったり、ゲームあそびなどで交流し「ありがとう」「小学校に行ってもがんばってね」とお祝いしました。残り1か月、さくら組さんとの楽しい思い出がたくさんできると良いですね!



※本来ならば卒園を大勢の方とお祝いしたいところですが、感染症予防の観点から14日の卒園式は卒園児及び卒園児保護者、職員で行います。

「すくすく・のびのび・にこにこ」の保育理念を念頭に職員一同、保育に取り組んで参りました。1年間を振り返り、「元町保育園評価」としまして裏面に掲載させていただきましたのでご覧ください。



令和7年度 元町保育園自己評価

保育園自己評価についてご報告致します。

元町保育園では、保育理念「すくすく・のびのび・にこにこ」

～子ども・保護者・地域・保育士 みんなで笑顔あふれる保育園を目指します～

- 保育目標
- ①生き生きと毎日を楽しめる子ども
 - ②好奇心旺盛で意欲のある子ども
 - ③思いやりのあるやさしい子ども

を念頭に1年間取り組んで参りました。職員が1年間を振り返り、新たな課題を見つけて今後も取り組んでいけるよう保育園評価をご報告致します。

【良かった点】

- ・園近隣に遊び場所、公園が多く自然に親しむ機会を多く持てた。
- ・子どもの興味や意欲に寄り添い、共感しながら保育できた。
- ・目標すべてに気持ちを入れて保育するのは大変だが、今年は保護者の方々の理解が何よりもありがたく子どもの笑顔が多く見る事ができた。
- ・子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、向き合いながら、安心して過ごせる環境づくりを意識して取り組んだ。
- ・クラスでアイデアを出し合い、計画的に保育を進められ進級に無理なくステップアップできた。
- ・クラス担任等関係なく子ども達の見守りができ、子どもの育ちを支えられた。
- ・地域の老人会の方々との交流、散歩の際など地域の方が温かく声をかけて下さり、見守られながら育つことができた。
- ・保育アプリの導入により、保護者との伝達ツールの幅が広がった。
- ・献立の作成元が変わり、新しいメニューを取り入れる事が出来た。

【反省点】

- ・未就園児の親子が気軽に遊びに来て、園児と交流を持つ場、環境を作れなかった。
- ・その日の保育の深さがなく、段取りばかりが優先されていたように思えた。
- ・コロナ以来、地域との関わり方が減ったので、もっと保育園のアピールが必要。
- ・子ども主体で保育するようにしたが、感染症等での日々の保育に制限が出てしまうこともあった。
- ・クラスごとの方針の違いに合わせるのに苦戦した。事前に進め方、方針をしっかり聞いておくべきだった。
- ・保護者の方と情報交換をしたり、普段の様子を見て頂ける場をもう少し持てば良かった。
- ・異年齢との関わりがあまりもてなかった。
- ・保護者との連絡手段などが保育アプリへ移行し慣れない部分があり、うまく活用できていたか。
- ・給食の味付けなど濃くならないように気をつけていきたい。

【今後の課題】

- ・保育者自身が保育を楽しむ。自分の保育に集中し、それが楽しければ保育の目標は自然に達成されると思う。
- ・子ども一人ひとりの良い所を見つけながら、保護者、地域の方々が楽しめる場を今後も工夫していく。
- ・食育等にも保護者が参加できるような行事等も計画したい。
- ・誰でも通園制度への対応、園庭開放の親子の受け入れ、地域との交流、不適切保育問題。
- ・公立1園となり職員の異動がなくなり、偏りが感じられてしまうのでは？各々自己啓発と島内保育園との研修、交流会を通して進化し続けられるようにしたい。
- ・各クラスとの連携をより円滑にし、園全体の保育が統一感を持てるようにする。
- ・危機管理の意識と職員同士の共有。(ヒヤリハット、不審者対策、避難訓練等)
- ・子ども達においしく給食を食べてもらえるように工夫したい。

★保護者の皆様、地域の皆様にはご理解、ご協力をいただきありがとうございました。

子ども、保護者、職員で笑顔あふれる保育を目指す為、職員で課題意識を常に持ち、話し合い、子どもの人権を大切に保育に取り組んで参ります。